

みなかみ

議会 だより

第5号

平成18年11月1日発行
(2006年)

群馬県利根郡みなかみ町



藤原湖一周マラソン大会 (2点とも)

定例議会 (平成18年9月6～15日)

…2

平成17年度決算 一般会計・特別会計 2

平成18年度補正予算 一般会計・特別会計 5

疑惑解明調査特別委員会 調査結果報告 6

総務文教視察報告 7

町政を問う 一般質問6人 8

臨時議会 (平成18年10月11～17日)

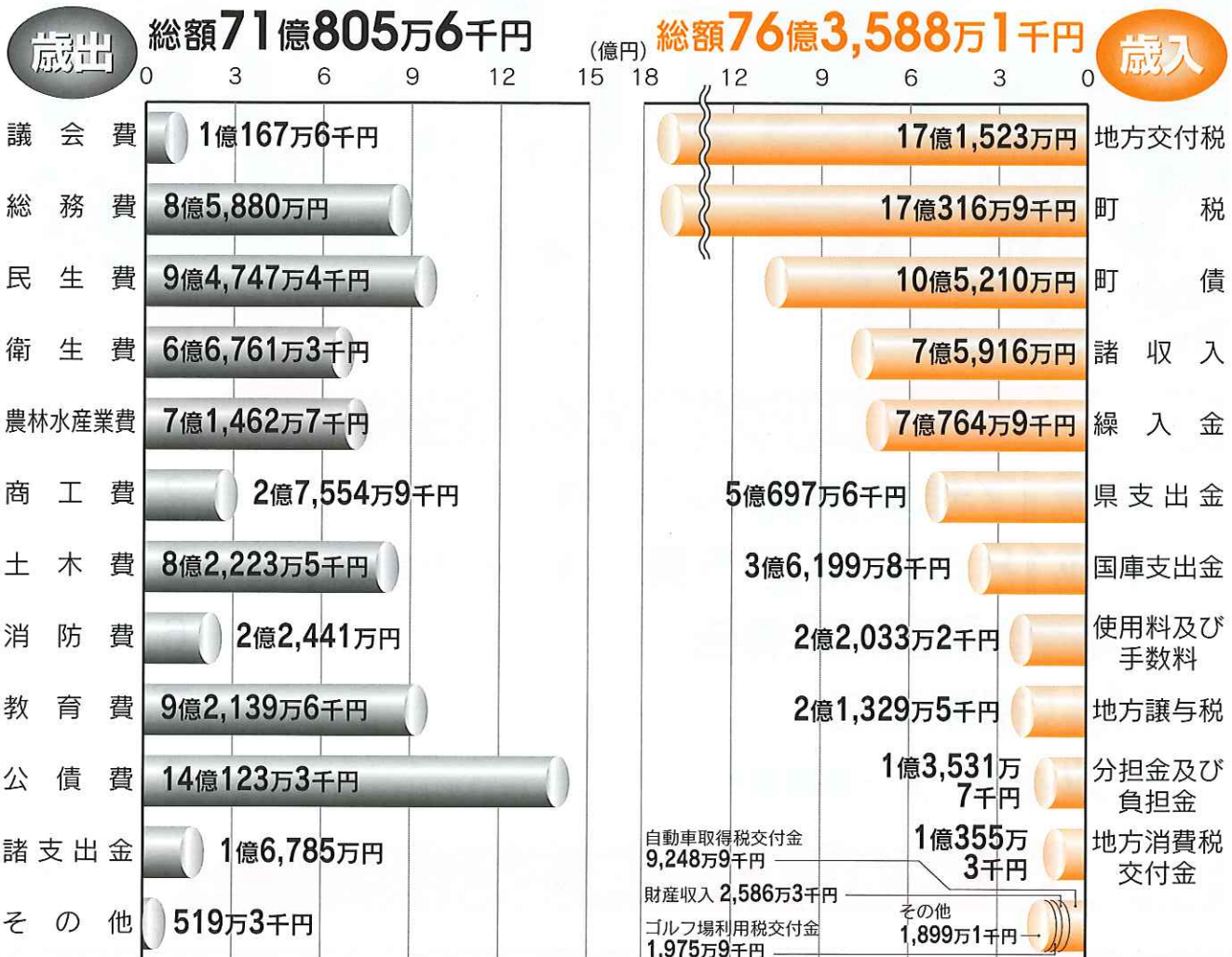
…5

9月 定例議会

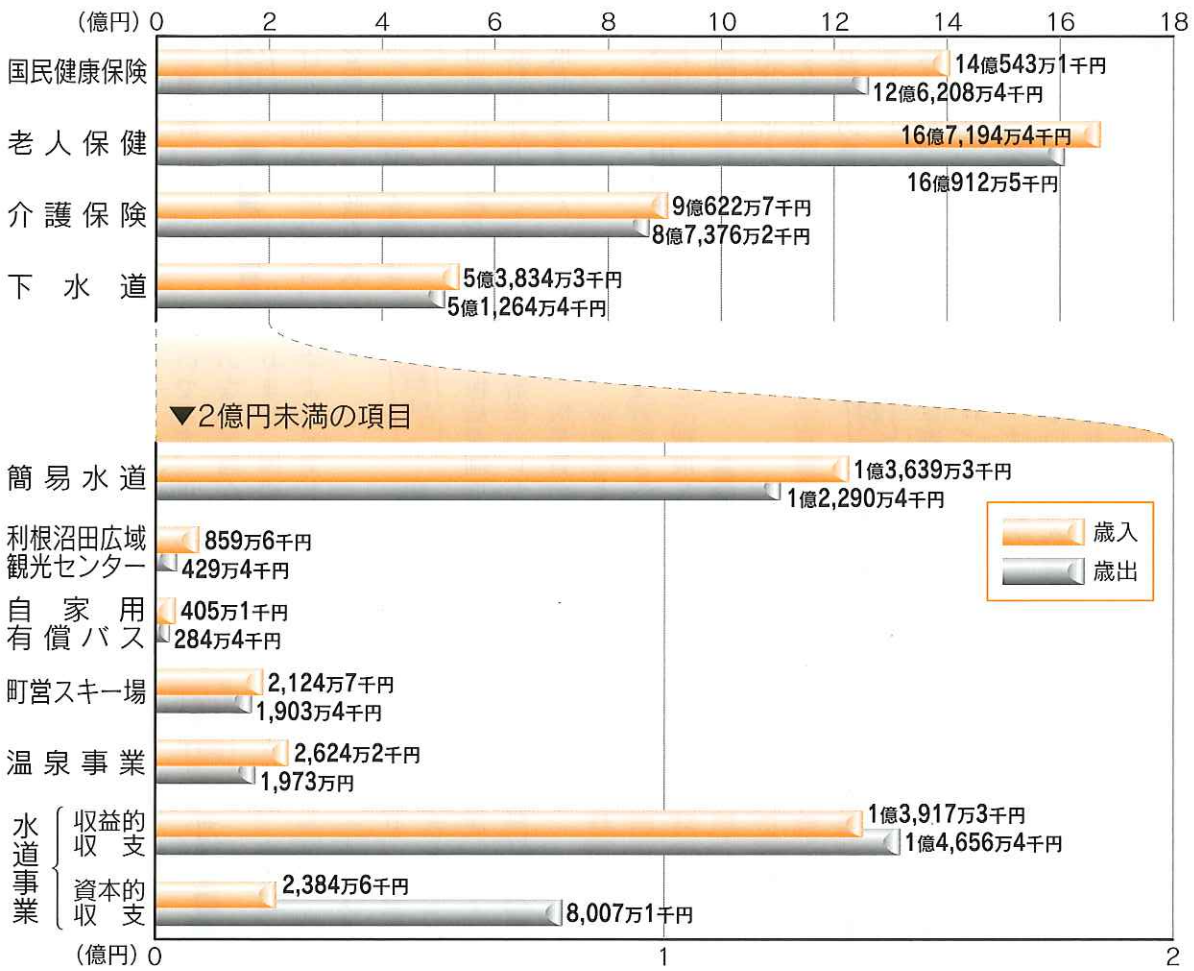
6日から15日までの10日間の会期で開催されました。
 発議1件、報告3件、人事案件2件(うち諮問1件)、契約締結2件、
 補正予算7件、その他議案5件が提出されました。
 また、17年度一般会計・特別会計の決算を審査しました。
 審議の結果、全ての議案を原案通り可決・認定しました。
 6人の議員が『観光振興』『鳥獣害対策』『財政』『少子化』『都市計
 画』その他町の課題等について一般質問をしました。

平成17年度決算

一般会計



特別会計



監査委員審査結果の総括意見

①歳入

年度当初一五億三六七七万八六二一円であった滞納・繰越未収金が、年度末には一八億九九五万八一二五円となっており、この整理が緊要の課題となっているが、みなかみ町行財政改革調査会の答申を受け十八年六月には税務課に滞納整理室を立ち上げ、滞納・繰越未収金の一体的処理が進められており、その成果に大きく期待されることである。

②歳出

厳しい予算状況の中で、豪雪も加わるなど困難な環境を克服し、一般会計の実質収支額で五億七二五万五七二円の余剰額を生じさせるなど、歳出削減の努力は高く評価される。

③合併に伴う統廃合

各種体育・文化施設・保育園・学校等については多大な維持管理費が支出されており、町財政の

健全な運営のためには、早急な統廃合等の実施が強く望まれる。

④第三セクター等関係団体

今後強く求められる財政運営のスリム化に向け、出資・債務保証・補助金・委託契約の全面的な見直しと、事業からの早期撤退が強く望まれる。

⑤物品管理

台帳等の整備管理については、精査・照合したところの問題点はなく、適正に管理されていた。

⑥各種契約

厳しい予算状況の中にあつて、その効率を求めするためには、契約内容の見直し、特に随意契約については全面的に見直す必要がある。

⑦補助金・委託費

(1)補助金については厳しく抑制されているところ

であるが、補助の目的がすでに達せられており補助の必要性の無くなったものや、旧来からの惰性的なものなどについて全面的な見直しが望まれる。

⑧企業会計

繰越未収金一億四〇九万五千四百一十円、一時借入金一億五〇〇万円等の処理が今後の緊急の課題となっており、町水道料金審議会も立ち上げられている中、料金改定等の早急な対応が強く望まれる。

以上、要望事項を含め意見を記したところでありましたが、早急な改善を期待したい。

決算審査討論

◇一般会計

反対

穂苅清一議員

①合併以前の住民の要望等を無視して行政を進めたツケが、財政を悪化させたこと

②旧新治小学校統合設計委託料が計上してあるの
で同意できません。

賛成

山田庄一議員

①旧町村の当初予算審議で決定されたもので、尊重しなければなりません。
②五億円の剰余金を生じさせるなど、今後の健全財政に向かっていっていると評価できます。

◇国民健康保険特別会計

反対

穂苅清一議員

合併後、保険料が支払

いできず、正規の保険証のない家族が約三〇〇あります。国の支援を増やすよう要望します。

賛成

山田庄一議員

医療費制度改革大綱や自治体のレポート点検など、医療費の適正化を図り、必要なときに安心して受診できる制度をお願いして賛成します。

◇水道事業特別会計

反対

原澤良輝議員

決算審査意見書でも指摘され、年度末に一時借用し、すぐ未払金に振り替えています。公営企業法からも問題があり、一般会計からの繰入等を含め決算方法の改善を要求し反対します。

賛成

河合生博議員

配水施設、浄水場施設、石綿管の布設替え、水源の確保等、ライフラインの充実を図り、安全な水が安定供給されることを要望して賛成します。

◇老人保健特別会計

◇介護保険特別会計

◇簡易水道特別会計

◇下水道特別会計

◇利根沼田広域観光センター特別会計

◇自家用有償バス事業特別会計

◇町営スキー場事業特別会計

◇温泉事業特別会計

(全会一致認定)

このように決まりました。

報告

●(株) 月夜野振興公社の経営状況

●(株) 水の故郷の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

●(株) 猿ヶ京温泉夢未來の経営状況

議案

●町教育委員会委員の任命

左記の人が任命されました。

●町立(仮称)新治小学校校舎新築工事請負契約の締結

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

●(全会一致同意)

予算継続費として計上されておられ、現在解体工事も進行中です。

反対

穂苅清一議員

この問題は、もつと様々な論議をすべきでした。また、適正な人札が処理されたのか疑わしいと思います。

●「核兵器廃絶平和の町」宣言

賛成

穂苅清一議員

地球上からすべての核兵器を廃絶することを願って、町がこの宣言をするのは大きな意義があります。平和宣言をされた市町村の連携をとり、平和施策を進められることを期待します。

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

(全会一致可決)

18年度補正予算(9月補正)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1億5,340万円	財産管理費(特殊車等購入基金積立金)/800万円 障害者地域生活支援事業/355万1千円 国民健康保険繰出金/685万1千円 月夜野地区土地改良事業調査委託費/210万円 畑地帯総合整備事業費 (農業用水確保基礎調査・水源調査)/657万3千円 道路維持費/250万円 除雪費(消雪パイプポンプ交換)/517万5千円 町営住宅管理費(屋根雨漏り修繕)/2,850万3千円 小学校費(社会科副読本印刷製本費)/233万2千円	147億2,810万円
国民健康保険	3億2,711万円	高額医療費拠出金/1,282万5千円 保険財政共同安定化事業拠出金/2億8,174万4千円	25億5,382万円
老人保健	464万6千円	電算システム改修費/464万6千円	26億497万2千円
介護保険	2,588万5千円	基金積立金/2,242万4千円	16億2,488万円
簡易水道事業	688万8千円	東部簡易水道配水管敷設工事/130万円 簡易水道総務費・予備費/558万8千円	2億1,029万8千円
下水道事業	2,569万9千円	月夜野地区公共下水道建設事業/678万4千円 公共下水道維持管理費/1,149万5千円	10億5,856万4千円
温泉事業	24万円	温泉維持管理/24万円	5,552万6千円

討論

◇一般会計

反対

島崎栄一議員

山岳資料館の場所が良くないので、補正予算に反対します。

湯検曾の方が場所として適しているのに、きちんと検討していません。もう少し慎重にやるべきだと思います。

賛成

河合幸雄議員

雪害や集中豪雨により、復旧工事等住民生活に直結する案件と、障害者の支援対策として、より充実したサービスの提供のために、地域生活支援事業に予算を組み替え、弱者にも配慮したもので、実用不可欠な補正と認めます。

(賛成多数可決)

◇国民健康保険特別会計

◇老人保健特別会計

◇簡易水道特別会計

◇下水道特別会計

(賛成多数可決)

◇介護保険特別会計

◇温泉事業特別会計

(全会一致可決)

10月臨時議会

議案

●町税条例の一部改正

討論

反対

島崎栄一議員

ノルンスキー場自体は大変条件が良く、運営次第で収入が望めると思います。延滞金を免除してまで譲渡するというのは、町の財産のたたく売りではないでしょうか。

町職員は将来的に減らさなければいけません。ノルンを町営スキー場として再生すれば、ここに職員を配置転換することで、町財政も職員も助かります。

スキー場を再生し、町も再生しましょう。

賛成

河合幸雄議員

地域経済にとつて意義があると認められ、債権者の承認が得られれば、計画に基づき企業の再建が図られます。

当然、債務の一部不履行が生じますが、これ以上町財政を悪化させることはできません。再チャレンジの精神で、企業の町に対する今までの貢献を期待する中で可決すべきと思います。

反対

穂苅清一議員

税の滞納については、町民個人よりも企業の方が大口なのが現実ではないでしょうか。この改正案は、ノルンスキー場の経営責任を問わずに多額の滞納金を免除しようとするものと言え、町民感情からいって決して許す

賛成

林喜美雄議員

ことはできません。

租税及びその延滞金は優先的に納めるべきものとなっておりますが、これも再生計画が認可されて初めて納められるものです。破産すれば税の徴収もままならなくなり、従業員も職を失い、地域経済に大きな影響を与えることを考慮すれば、この改正は必要と思います。ただし、運用に当たっては慎重に実施いただくよう要望します。

賛成

高橋市郎議員

この改正により、滞納整理がよりスムーズに進められるとともに、行き詰まった事業者等の再生がより円滑に行われることで、地域経済に及ぼす影響を最小限にとどめられるよう望むものです。

(賛成多数可決)

『町長へ一億円献金の事実はない』

疑惑解明調査特別委員会

調査結果報告

報告員 本多秀律
委員長 本多秀律

平成十八年六月定例議会において委員会が設置され、一〇名の委員を選任しました。

ここでは委員長報告の概略を掲載します。

■鈴木町長から聞き取り調査

町長 前村長から、山一カレットに一億円の寄付の要請をしてあるのでぜひ実現するよう引き継ぎました。この関係は昭和六十三年十二月に、一億円の結果を公正証書にまとめ寄付を受けた経緯がありました。

■島崎議員から聞き取り調査

島崎議員 週刊誌「サン

デージャーナル」に、腐敗の構造ゴミ処理場に関する記事が掲載され、金権選挙が行われている噂がある報道されています。元村会議員で村長の応援団の木内兼男氏が、一億円もらっています。

委員 「町長は一億円もらっている。会社から二億円来ている」ということですか。

島崎議員 そうです。委員 確信があつて言っているのではないですか。

島崎議員 いいえ、確信はないです。

委員 自分で認識している部分が無いようだが、人の話を聞いたら自分なりの判断をしていく、決意があれば聞きたい。

島崎議員 銀行からの借用書を出してほしい。なぜ、報道した週刊誌を訴えなかったのか。

委員 発言について自身の覚悟はあるか。

島崎議員 鈴木さんが裏金をもらったかどうか、私には関係ない。委員会はどうこう言っても私には関係ない話です。

委員 町長は「疑惑が事実であれば辞職する」と言っています。

島崎議員 白黒無関係で責任持ちません。委員会の結果が出て私も私は無関係です。私のことをしてののではないのです。

木内兼男氏を迎えて

木内氏 町長が一億円も

らった、もらわないは、当時人々がそのような話をしたというだけで、私はもらった所に立ち会ったこともないし、聞いてもいません。

山一カレット社長 や兄弟にも確認したが、していないと言った。

委員 「鈴木町長が一億円もらい、所得にすると問題なので、木内さんが肩代わりして三千万円支払った」発言があるが、そのような事はありませんか。

木内氏 無いです。

山一カレットへ聞き取り調査

山一カレット社長 当時の売り上げは五、六億円で、村長に一億円の献金

は無理です。

会社の取引相手は全国四〇市町村など役場関係の仕事が多く、クリーンにやっています。私は、堅いことが町村に信用が出たのだと思っています。

調査結果

「十数年前に某社に便宜を図った謝礼で一億円もらっている。利息を付けて二億円を村に返すべき」と島崎議員が指摘した件について、委員会は八対一で「その事実はない」との結論に至りました。また残りの一人も「確認できなかった」との判断でした。

この結果、委員会は島崎議員に二点質問しました。

以上を、調査結果として報告いたします。

た。

①一億円もらった事実が無いので、文書により謝罪しますか。

②「旧新治村議会の動議は間違っていた」との談話について謝罪しますか。

島崎議員は、これに対して「謝罪の必要はない」と答えました。

質問をするのであれば十分に調査・研究し、自分で絶対的な確証になるものをもって質問するべきです。憶測や思い込み、また個人的な感情のみで質問すれば、それは相手の名誉を侵害することになります。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

以上を、調査結果として報告いたします。

視察報告

6/27 報告：委員長 根津公安

● 耐震補強を実施した学校

桃川小学校・荒牧小学校（前橋市）

● 幼保一体化施設の実例

六合子ども園（六合村）



扉の使用が可能となるよう施工された鉄骨ブレース

この度の視察の目的は大きく二つあり、一つは、みなかみ管内の義務教育施設のうち耐震強度が不足している施設の今後の対応と、既に耐震補強済みの教育施設の現場研修、二つ目は、今後取り組む方針の一つである、幼保一体化の先進地視察です。

◆ 耐震補強済み施設

桃川・荒牧小学校

両校とも、鉄筋コンクリート三階建て、建築年数約三十五年前後、耐震診断の結果は平均約〇・七五、国の安全基準〇・七

をやや下回る数値でしたが、耐震補強後は〇・八〇・八五に強度が上がったそうです。

経費は、補強工事にそれぞれ約五千万円程度、また、それに伴う教室改装費が別途かかり、新築と同等の予算を組み込まなければならぬとのことでした。

補強工事には、三つの

工法を用い、コンクリート壁や梁を厚くする補強、窓枠に鉄骨の筋交いを入れる鉄骨ブレース補強、また、最新技術では、柱に炭素繊維を巻き付け補強する工法などを取り入れ

◆ 幼保一元化教育施設

六合子ども園

の関心事は、みなかみ町内の教育施設老朽化に伴い、既に構造耐震指標が〇・三台と判明した学校に、補強工事がどれほどの効果と意味を持つのかに焦点を当てた。関係者にお尋ねしたところ、「非常に難しい問題です。最終的には財政との兼ね合いになるでしょう。」と明言は避けられました。

六合子ども園は、国の構造改革特区申請において、県のモデル校となっている教育施設です。

研修目的は、新治地区において、将来幼保一体化の園を構想中であり、その計画に先駆けての研修です。全国的に、幼保一元化施設の希望が高まり、昨今の社会需要の中で当町においても、夫婦共働き世帯が増加している傾向です。

幼保一元化の長所は、保育時間が終了した後も、



平成 15 年 4 月に特区認定を受けた

ズに対応して、その機能を併せ持った国の認定子ども園の関連法案成立を受け、認定基準を定める条例整備の作業に入り、県議会十二月定例会への提案・可決を目指すとのこと

保育を希望する園児は、保育所児と合同保育できることです。

特区認定校でさえ、現在においても困惑する場面があるようで、二つの省庁にわたる事業の難しさを痛感するお話を伺いました。その問題の一つとして、教職員の資格があるようですが、六合子ども園の先生方は両方の資格を保有しているとのこと

現在、県においても、幼保一元化への高まるニ

国の進める認定子ども園制度の背景には、少子化による定員割れの幼稚園が増える一方、女性の社会進出による保育需要の高まりという現実、先進国ゆえの問題なのでしょうか。

様々な要因が考えられますが、社会や大人の都合ではなく、生き生きとした「子ども園」を作らなければならぬと、その思いを強くした視察研修でした。

6人が質問を行いました。

主な内容

- **阿部 賢一** ①補助金の検討9
②高畠牧場の有効活用
③猿害対策
- **前田 善成** ①合併の効果と課題10
- **鈴木 幸久** ①湯原温泉街観光振興11
- **高橋 市郎** ①町財政の現状と健全化への取り組み12
②少子化対策
- **鈴木 勲** ①国道291号線拡幅 13
②鳥獣害対策
- **原澤 良輝** ①入札制度の改善14
②月夜野地区100億円の都市計画事業



阿部 賢一 議員

和牛繁殖事業に 高畠牧場活用しては

農政課長 有効活用へ努力したい

問 当町は県下有数の繁殖和牛地域ですが、放牧希望頭数に対し、大峰牧場の受け入れ頭数だけではとても対応できない状況です。前橋市の撤退後放置されている高畠牧場を、畜産振興のため有効活用されてはいいかがでしょうか。

答 町長の「繁殖和牛放牧モデル事業」があり、この事業の導入を検討し、畜産振興を念頭に置きながら考えていきたい。

答 農政課長 牧場活用しない方針の組合、放牧可能な組合があると考えています。牧柵・草地改良等は必要ですが、牧野組合の理解を得られれば、有効活用へ努力したいと思っております。



畜産共進会（和牛の品評会）審査の様子

■補助金削減
審査行い必要な所には復活を

問 町が町内諸団体に交付している補助金は、一律五〇%削減されており、これに対し町民の方々より大変厳しい意見をいただいています。そこで民間の検討委員会を設置し、審査していただいたらどうか提案します。

答 町長 「補助金等検討委員会（仮称）」の設置については、平成十九年度予算に向けて検討しているところです。また、次世代を担う青年のスポーツを通しての健全育成、町に伝わる伝統文化というものは、町づくりをしていく支えになっていくことは事実であり、これらを守り、次世代に引き継ぐためにも、それらに対する補助金等については、できる限り予算付けをしていくよう努力していきたい。

■野猿の被害
深刻な状況、対策急いで

問 猿害が多く発生し、その数も増加傾向にあります。その被害は深刻な状況にあり、県・国に強く働きかけ、早急に対策を講じていただきたい。

答 町長 地域住民・猟友会・行政の相互協力が不可欠であり、長期的な取り組みが求められます。猟友会の皆さんによるパトロール等、様々な対策をとっていますが、野猿駆除に効果があるものは即刻実行し、その予算は専決事項で認めてほしい。



前田 善成 議員

合併のメリット活かせる施策を

町長 最小の支出で最大の効果目指す

問 町長のリーダーシップは町のあり方に大きく影響します。真に住民の願いを実現する人であってほしいものです。

合併して一年が経過し、教育・保険・福祉のサービスに関し、その効果に

疑問を持つ意見が聞かれますが、考えをお聞かせ下さい。

また、サービス水準の確保が心配される中、交付税制度の改正に備えた考えがあるでしょうか。

答

町長 町政発展のため、町長として、住民の代表である議会と議論をかわし、リーダーシップをとっていく決意です。合併の効果として、行政サービスの維持や特別債を活用した町づくりが

あげられます。経常経費の削減で今年度以降、住民サービスが向上したものの、自己負担が増加したものの等ありますが、できるだけ早く平等化するように、努力を重ねていきたい。

さらに、「夢のあるまちづくり」にあたり事業の評価への対応が不十分に思えます。行政評価システムを導入し、サイクルによる行政運営の確立で、手段主義から成果主義に転換を図る考えがあるでしょうか。

答

保健福祉課長 検診については、一部負担額を据え置いたものもあります。また対象年齢や夜間・早期検診の拡大等、サービス向上を図っています。

問

制度改正により、町の責任が増し、財源確保が心配され、教育・福祉に関して住民に理解をお願いしたいという内容でしたが、限られた枠のサービスを有効利用し、当局においても改善すべきは改善して下さい。

答

町長 前例主義を廃し、起業的センスを入れた町づくり経営で、成果主義に合った組織体にし、行政目標をかけた、最小の支出で最大の効果を上げられるようにしていきたいと思えます。

答

地域振興課長 指定管理者制度については、次期、公募を視野に入れ、今期、指定期間中に、第三セクターを含む指定管理団体の協定内容等、適宜説明したいと思います。



『みなかみ町』誕生から1年が経過した

事業や住民サービスにおいて、指定管理者選定の移行メリットの喪失や、検診などの負担増など、町民の理解が乏しいのは、説明不足ではないかと思われれます。

また、組織再編も考え



鈴木 幸久 議員

湯原温泉街の振興は「温泉公園」構想で

町長 地元協力のもと全力尽くす

問 ひがきホテル駐車場
の取得が遅れていま
す。何か問題があるの
でしょうか。

答 **町長** 用地取得の交
渉中に民事再生法の
申請という事態が発生し
遅延を余儀なくされまし
た。また、当該の土地に
現在も使用中の貯水槽が
あることから、移転補償
の問題が新たに生じまし
た。しかし、概ね九月中
には契約できる段階に進
んでいます。

問 湯原地内の利根川縁
遊歩道建設計画が、
地権者の同意が得られず
暗礁に乗り上げていると
聞きます。事業の時間的
制約を考えると一刻の猶
予ありません。

この際、計画の変更を
決断し、現時点ではより
誘客効果の期待できるひ
がきホテル駐車場に隣接
する「藤屋ホテル別館」
を取得し、さらにその施
設に隣接する湯原温泉源
泉地、源泉を活用した
「温泉公園」建設が、大
駐車場を最大限に活かし
たものになります。

なった観光拠点「温泉公
園」、それこそ遊歩道の
代替案として最適と考
えられます。

答 **町長** 遊歩道の建設
計画は、火災で朽ち
果てたホテルや下水道の
露出箇所が見られ、また
遊歩道から客室が覗かれ
る等の阻害要因があると
聞いています。町村合併



湯原温泉街（中央駐車場付近）

等から諸事情も変化して
いると思います。

それだけに、湯原の地
を訪れるお客さんに「水
上温泉が変わる胎動」を
強く印象づけることが大
事です。山・川・温泉の三
体を備えた公園は理解で
きますが、加えて、若山
牧水、与謝野晶子、太宰
治等の文学作品を広め、
東京芸大との連携で「芸
術と文学」を標榜する街、
訪れるお客さんが散策し
たくなるような温泉街を

作りたいと考えます。

いずれにしても、地元
関係者の理解と協力がな
ければ温泉街の再生はで
きません。全力を尽くす
決意をしています。

問 湯原温泉を皮切りに、
月夜野・新治地区の
観光拠点の順次整備を。

答 **町長** 実現に向け、
粉骨砕身努力する決
意です。

■諏訪峡遊歩道通行規制 安全確保しつつ解除できないか

問 諏訪峡遊歩道が、保
全対策調査により
「非常に危険」と判断さ
れました。

観光客の安全を確保し
通行できるようになりま
せんか。

答 **町長** 散策中の観光
客等に対して落石に
よる死傷事故が発生した
場合、観光地にとって致

命傷となります。長大な
危険箇所に対応するには、
時間と莫大な費用を要し
ます。観光客の安全確保
とイメージダウン回避の
ため、九月八日より一部
通行止めを決定しました。
なお、長期通行止めは
町の観光施策に与える影
響が大きいと考え、新た
なる代替案を模索中です。



高橋 市郎 議員

町財政への不安にどう答える

町長 経費削減や財源確保、三セク情報公開も

問 みなかみ町誕生から約一年が経過し、財政の厳しさは予想以上です。今年度予算では、人件費や補助金の大幅な削減など、職員・町民に多大なご協力をいただきました。新聞報道によると、財政『黄信号』『第三セクタ―水上リゾート開発の民事再生手続』など、町民に町財政へ対する不安が広がっています。

合併特例債活用による夢のあるまちづくりと財政健全化の両立こそ、誇れるみなかみ町になると思います。町長の考えを伺います。

答 町長 当町の財政は、平成十七年度の財政状況調査からも厳しい状況が現れています。具体的には、実質単年度収支

二億二九八〇万円の赤字。経常収支比率一〇二・八%、実質公債比率二〇・七%、公債費残高一八六億五三〇六万円。

実質単年度収支が、財政調整基金等から七億四八〇〇万円取り崩したにもかかわらず赤字であることは、人件費、公債費、物件費等の経常経費がいかに大きな割合となっているかを示しています。

財政健全化を図るには、まず経常経費の削減はもちろん、地域の活性化を促し、安定した財源を確保する施策が急がれます。

第三セクターについても、経営状況をお知らせすることを検討します。

問 第三セクター水上リゾートの民事再生が及ぼす影響についてお聞

答 地域振興課長 損失補償を旧水上町で行っているので、履行を求められる可能性がります。出資している三四〇〇万円が、価値がなくないのでないかと予想されます。

問 どういう役員が町から行っていたのですか。

答 助役 取締役として私(当時の水上町長)、それから監査役として収入役が参加していました。

問 少子化対策 若年層への職場確保を

少子化対策には、若い人の職場の確保など総合的な対策が必要と考えます。

答 町長 現在、町として十三歳まで医療費無料、町独自の出産祝金制度、出産・育児への不安解消のための両親学級等の取り組みをしていますが、それに加えて、地域イベント等を活用した

男女の出会いの場作り、子育て支援と教育環境整備を調査・検討中です。様々な施策は講じていますが、その基本は『住みたくなるまちづくり』です。『みなかみ町』に生まれ、教育を受け、就労し、子育てに励み、老後の人生を『みなかみ町』で生きがいと楽しみをもつて過ごせるような町づくりに努力してまいります。



ノルン水上スキー場の管理棟



鈴木 勲 議員

甚大な鳥獣被害に どう対応するのか

農政課長 地域一体の体制が重要



食い荒らされた農作物

駆除対策をどのように
するのでしょうか。

答 町長 九月二日に猿
追いを行い、その時
捕獲した二頭の猿に発信
機を付け群れに戻しまし
た。県は暫定で一〇〇頭
(月夜野地区)を認定し
たので、その一五%の十
五頭が駆除できます。

今年には熊も人里に異常
出没しており、九月一日
現在、町全部で二十四頭
駆除しました。

引き続き檻や銃、食べ
物となる農作物等を排除
する対策を継続していく
考えです。

問 農作物等の被害が増
大しています。賞金
制度を設け、町独自の方
策を立てることが必要か
と思えますが。

答 農政課長 有害鳥獣
対策費は、六二七万
三千円の予算を組んでい
ますが、この対策は地域
一体となつて進めていく
ことが必要です。

問 近年、山に餌がなく、
熊や猿・鹿・猪等の
鳥獣被害が甚大です。農
作物を荒らし、人間にま
で害を与えて困り果てて
います。鳥獣を駆除し、
人間社会の安全を保たな
ければなりません。

答 農政課長 有害鳥獣
対策費は、六二七万
三千円の予算を組んでい
ますが、この対策は地域
一体となつて進めていく
ことが必要です。

■国道二九一号线 観光地にふさわしい安全対策を

問 町おこしは、観光の
活性化が重要課題で
す。それに伴い道路整備
も必要不可欠です。

国道二九一号线は、道
路の幅員が狭いうえに近
年交通量が増しており、
交通事故が絶えません。

見通しの良い、観光地に
ふさわしい道路にしてほ
しいと思えますが、町長
の考えは。

答 町長 国道二九一号
線は、観光産業の振
興発展に大きな役割を果
たしています。

上毛高原駅以北は狭隘
部分が多く、接触事故が
多発していると伺ってい
ます。

特に観光地に向かう道
路は、安全で快適に運転

できることが大事です。
毎年、抜本的な道路改
良のため県に陳情を重ね
てきた経緯があります。
今年には九月十九日に陳情
することになっています。

問 交通事故の多発場所
については、深沢の
三叉路のカーブ、小川地
内の三ヶ所のカーブの道
路を付け替えるか、カー
ブの幅員を拡幅するか、
調査検討をお願いしたい。

答 建設課長 深沢と小
川地内三ヶ所は、特
に交通事故が多いという
ことですので、管理者の
土木事務所に、また、観
光地としての道路改良は、
県の方に要望していきたい。



原澤 良輝 議員

公共事業は財政考慮し絞り込みを

町長 都市計画は必須、財政再建と並行で

問 現在、町は約二八〇億円の負債があり、町出資の公社等の採算も

厳しいものがあります。住宅用地、工業用地の需要も少なく、計画を半減する位の思い切った見直しをし、公共事業は学校の耐震対策など緊急性のある事業を優先すべきです。

な事業に限定するよう求めます。

進行で実施したいと思えます。

てはどうかでしょうか。

関係地域住民の意見を聞きながら、本当に必要な

合併特例債を活用しての都市計画事業は避けては通れませんが、学校の耐震問題や福祉問題など、バランスの良い行財政を心がけながら財政再建と事業を同時

都市計画事業は否定しませんが、「うららの郷」が未売であり、住宅需要があるのかどうか。学校の耐震補強を優先し、地域住民を含め都市計画区域の見直しをし

財政問題等を考え、学校の施設整備、都市計画事業、まちづくり交付金事業等に、合併特例債を百十七億円位使いたいと考えています。



都市計画中の道路（真政悪戸線）

■入札制度 改善には予定価格の事前公表が必要

問 日本弁護士連合会は「日本の入札は談合が蔓延している」として入札制度の改善を提言しています。

自治体は予定価格の事前公表を行っている。

答 最近、一部の地方公共団体で予定価格を事前に公表する動きがありますが、落札価格の高止まり等の懸念もあり、現在考えていません。

問 予定価格や設計価格が公表されないと落札価格がわからず、正当な価格かどうか判断できません。

談合など不正の起きない入札制度を目指す必要があると考え、五点の提案をいたします。

- ① 予定価格を事前公表する。
- ② 指名入札でなく条件付き一般競争入札を原則にすべき。
- ③ 入札には見積もり内訳書を添付させる。
- ④ 入札監視委員会をつくり、入札に立ち会わせる。
- ⑤ 入札結果は町民に周知する。

公共事業の業者選定は「町請負業者選定委員会」の答申を受けて指名競争入札を執行しております。入札監視委員会は国の工事に平成六年に設置されました。入札は町長の

答 町長 法律に基づいた公表をしております、それ以上の公表は考えていません。

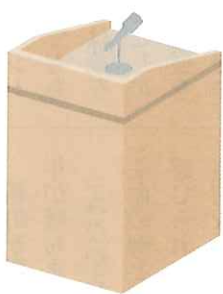
みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	3	18. 8.21 町営猿ヶ京簡易水道拡張について	新巻1225 池ノ原簡易水道組合 組合長 大坪 進	厚生	採 択
	4	18. 8.28 町道真沢線拡幅工事について	月夜野2842-3 上組区道路建設委員長 阿部 康	産業観光	趣旨採択
	5	18. 8.28 公衆トイレ設置を求める	小日向1071-2 小日向区長 小崎洋一郎 ほか2人	産業観光	継続審査
陳情	6	18. 7. 5 一級河川赤谷川の河川整備について	布施283 布施区長 鈴木一己	産業観光	採 択
	7	18. 7.10 上越新幹線横坑騒音対策について	小川1097 小川区長 鈴木隆夫	産業観光	採 択
	8	18. 7.27 国有林内崩落対策について	大穴131-5 大穴区長 眞庭幸男 ほか1人	産業観光	採 択
	9	18. 8. 8 手話通訳関連事業について	西峰須川688-2 利根沼田聴覚障害者協会 会長 本多健三郎 ほか1人	厚生	採 択
	10	18. 8.21 野生猿駆除のお願いについて	布施283 布施区長 鈴木一己	産業観光	採 択

**議会を
傍聴して
みませんか？**

◆12月の定例会は、
13～21日を
予定しております。

—お問い合わせは—
議会事務局まで
☎ 62-2111 (内線 611)



議会日程

9月定例会 (6～15日)

各9:00～ ◎産業観光常任委員会 ◎厚生常任委員会 ◎総務文教常任委員会 ◎第3日目(8日)金	14:00～ ◎議会全員協議会 ◎第3日目(8日)金	9:00～13:45 ◎一般質問 ◎第2日目(7日)木	9:00～15:33 ◎本会議 ◎第1日目(6日)水
9:00～11:48 ◎本会議 ◎第10日目(15日)金	14:00～ ◎疑惑解明調査特別委員会 ◎第8日目(13日)水	13:30～14:50 ◎疑惑解明調査特別委員会 ◎第7日目(12日)火	10:00～12:20 ◎行財政改革特別委員会 ◎第6日目(11日)月
(閉会)	◎第9日目(14日)木 (休会)	◎第5日目(10日)月 (休日)	

議会だより編集委員会

- ◆委員長 河合 幸雄
- ◆委員長 林 一彦
- ◆委員長 原澤 良輝
- ◆副委員長 森下 直
- ◆委員 島崎 栄一
- ◆委員 本多 秀律



茂左衛門様と信仰

佐藤 喜代治 (月夜野)

現在私は、茂左衛門地蔵尊の運営に携わっております。

年々参拝者の数が減少し、昔から月参りをして下さっている方も、寄る年波には勝てず一人減り、二人減りと段々とその数も減少してまいりました。茂左衛門地蔵を支えてくれた人たちが少なくなってきたことに寂しさを感じます。そんな中でも、親子で毎月日を決めて参詣して下さる家族、また、両親が月参りをしていたが亡くなり、子どもが後

を継ぎ、夫婦で参詣して下さる家族等がいることに對し、敬意を払います。このような信者がいることは、茂左衛門地蔵尊を運営していく上で励みになります。縁日はともかく、普段参詣する方は年配者が多いですが、これは当然のことです。なぜならば、時間に余裕があることと同時に、世の中の関わりの中で感謝の気持ちを持てるようになったこと、ひいては信仰心が身に付いてきているからだと思えます。

若い時は一人で大きくなったような気持ちで、人や物事との関わりの中で成長していることなど気付かず、また考えもしなかった。したがって感謝の気持ちなどあまり持たない。そんな状態の中では、当然信仰心など生

まれるわけがありません。人間は歳を重ね、人や物事の関わりの中で徐々に成長して行き、必然的に感謝の気持ちが自覚で

いのもうなずけます。私達は小さい時から、信仰心のあるなしに関わらず『茂左衛門様』として親しんできました。この茂左衛門地蔵尊は、地域の先祖はもとより諸先輩による汗の結晶でつくられたもので、努力の賜です。たとえ参拝者が少

なくならうとも、私達は茂左衛門地蔵尊を守っていかねばなりません。茂左衛門地蔵尊は旧月夜野町のものでなく、今や『みなかみ町』のシンボルでもあり、宝でもあります。これからは茂左衛門地蔵尊を町おこしの起点として、町の発展を図っていききたいものです。町民のみなさん、年に一回位は参詣して、昔のにぎわいを取り戻したいものです。みなさんご協力をお願いいたします。



縁日には大勢の参詣客でにぎわう(二点とも)

新町が誕生してから一年が経ちました。

『みなかみ町』。水の源、生命の源とのイメージが感じられてきて「良い町名だなあ。」と思う今日この頃です。

九月の定例議会は、平成十七年度決算認定をはじめ、各議案の議決が行われました。また六人の議員から、広範囲にわたる一般質問が行われました。

今年も残すところ二ヶ月となりました。『夢のあるみなかみ町』実現のため、みんな一緒にがんばりましょう。

林 一彦

